



丹波市農業委員会だより



古代 米収穫祭

会長あいさつ

丹波市農業委員会
会長 足立 梅則



平成23年6月に執行された丹波市農業委員会委員選挙による農業委員改選に伴い、7月1日から農業委員会会長に選任されました足立梅則でございます。

3月11に発生しました東日本大震災とそれに伴う原発事故発生により被災されました方々に心からお見舞い申し上げますとともに被災地の皆様の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、農業を取り巻く環境は、TPP参加協議など依然として厳しい状況にあります。

農業者の高齢化、担い手不足、遊休農地の増加等農業委員に課せられた任務は以前にもまして重大であります。

今年には農業委員会法制定60年の節目の年でもあり、決意を新たに丹波市農業委員会は、農家の皆様の話に耳を傾け、農家の相談相手としてきめ細かくその責務を果たしていく所存でございます。

集落担当農業委員に農業農地に関すること、何事でもご相談いただき、身近な農業委員会として活動をするまいります。

今後とも、よろしくご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。ごあいさついたします。

- ◆安心安全地産地消コーナー「ふるさとのかたち」・・・・・・・・・・2P～3P
- ◆農業委員会法制定60周年記念式典・・・・・・・・・・・・・・・・・・4P
- ◆農地パトロール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5P
- ◆担当集落一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6P
- ◆H22年度許可申請実績・農地相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・7P
- ◆編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8P

ふるさとのかたち

豆心豆全
地産地消



柏原地域

遊休農地減少を目指して

北山愛郷クラブ代表 中道 昌幸

北山地区は柏原地域でも農業従事者の高齢化が進んでいます。

農地面積も平地50アールと少なく、過去には特産品として原木生椎茸の産地として一世を風靡しましたが輸入品や世代交代で見慣れなくなり、現在は転作作物として黒大豆が一部栽培されている程度です。

現在利用権設定者の借主も高齢化と共に返却者も増え、今後農地を守れないとの思いで「集落営農の明日を考える会」を立ち上げ、地区農家に呼びかけ賛同を得て、平成19年に「北山愛郷クラブ」として12名の有志により、現在15名の会員で運営しています。



作業はコンバインを

購入し刈取作業を主体に、草刈作業受託作業等を行っています。他の農機具は会員所有機器を借り上げ有効利用しています。

今後高齢化や世代交代等による受託作業の増加が考えられます。

刈取作業のみでなく受託田の増加と共に、作付け作業や転作田の利用も考えなくてはなりません、作業員の若返りと共に作業の多様化が望まれます。

氷上地域

農地・水・環境保全向上活動

氷上町本郷 荻野雄一郎

平成19年4月、農地・農業用水等の資源の保全と向上を図るため、国・県・市が一体となつてこの活動が始まりました。

この活動に対して田10アール当たり4000円の支援金が交付されますが、活動グループに農振農用地が20ヘクタールあることが必要条件となります。幸い本郷は27ヘクタールありますので、この活動に取り組むことにし、市と協定書を締結しました。期間は5年間で、丹波市では84、氷上町では22のグループが活動しています。

本郷では、子ども会と共同で景観形成のため、休耕田にコスモスの種をまき、子ども達が土に親しみ、農業の大切さを体験できるようにジャガイモやサツマイモを栽培しました。どちらも豊作で、収穫したジャガイモはコロッケに、サツマイモは焼芋



にして舌鼓を打ちました。

今年は5年計画の活動最後の年です。子どもたちに究極の農業体験をしてもらおうと田植えをしました。子ども会の小学生に中学生の応援もあり、小雨の中、生まれて初めての田植えに挑戦しました。植えたのはもち米です。秋に収穫し、暮れにはみんなで餅つきをします。楽しみです。

青垣地域

『より美味しいぶどう作りを目指す』

農業委員 足立 豊治

青垣町東芦田のぶどう栽培農家、宝珠園の芦田則夫さんを訪問しました。

お訪ねした当日は梅雨明け間もない頃で、気温37度の猛暑の中で袋かけ作業をされており、約1時間程度作業の手を休め快くお話しくださいました。

約10年前に農業改良事業の補助を受けて有志3名で始めましたが、後に芦田さんが1人で引継ぎ、より収益率の良い栽培方法の試行錯誤を繰

り返し、上質のぶどう栽培ができるようになり、現在25アールの栽培面積があります。昨年から65アールの水田を営農組合に預けて、桃やスイカの栽培も始めておられます。その日の袋かけ前の状態を見せていただきましたが、見事な房になっており、収穫の時が楽しみです。管理作業は、芦田さん夫婦と手伝いの方と3名でされており、収穫と販売の時は子どもさん夫婦も手伝われ、市内のイベントや直売所、ぶどう狩りでの販売、贈答用としても人気があり、忙しい日々が続くようです。開園の時期は、例年8月上旬頃だそうです。



「今後は後継者を育てこのぶどう園がいつまでも続いていくことが目標です」と日焼けした顔でやさしく微笑む芦田則夫さんでした。

宝珠園 ぶどう狩り 8000円/kg
通常販売 1, 0000円/kg

お問い合わせ

▼宝珠園 青垣町東芦田 芦田則夫
▼電話 0795・87・0238

春日地域

営農組合をつくりました

春日町柏野 細見 忠明

定年で郷里に帰ってきました。タイミングよく有志による営農組合立ち上げの話があり、メンバーになりました。当地区は丹波市の中でも高齢化率が高く、子どもの数は少なく極端に過疎が進んだ土地柄です。この状況ですから草が生い茂った遊休田も多く、これからの地区のあり方を考えさせられます。

農業についての経験はありませんが、地域の保全と活性化のため、できる範囲で協力していこうと思っています。

設立初年度は水稻の収穫作業、小豆栽培をしましたが、小豆は鳩と鹿にやられ全滅に近い状況でした。今年に入り、水稻の育苗、なた豆の栽培、小豆栽培等行っていますが、比較的に地域に進んでいます。これからは更に地域にあつた作物の選定や生産方法の工夫で効率をあげて、限り多くの仲間を増



やしていきたいものです。これまでハウス設備を提供して頂いたり、機械を貸して頂いた方々や奉仕に近い状態で作業に当って頂いた方々に感謝しています。

山南地域

農地の多面的機能の保全のために

はたうち郷クラブ代表 柳川瀬義輝

耕作放棄田を元の農地に 戻すための作業



あらゆる地域で耕作放棄田を見かけることが多くなりました。要因は、農家の後継者不足・農業経営の不振・重労働からの脱皮などが考えられます。私の地域もこのような農地が多くあり、景観面でも環境面でも地域として大変憂慮する状況にあります。そこで、農地の有効利用・農村風景の保全・安全安心の農作物を地域の人々に安価に提供しようということで立ち上げたのが農業生産組合「はたうち郷クラブ」です。メンバー

は発足当時6人（現在10人）で、会社を退職した60才前後のもので組織しました。

事業内容は、水稻・黒大豆・小豆などの栽培や農作業の受託作業を行っている。事業規模は約1ヘクタールです。

「はたうち郷クラブ」の経営方針は利益を追求することではなく、メンバーが労働を通じてコミュニケーションを深め、耕作放棄田の解消や環境保全、地域の人々に安心・安全の農作物が提供でき、結果として多少とも利益が上がることを目標に活動しています。

市島地域

市島町上竹田 渡部 真平

私が市島町にやって来てから2年と数カ月が経過しました。

大学を卒業してすぐ就農した私は、淡路島で慣行農業を住み込みで学び、淡路島で出会った有機農家さんの影響で、有機農業に興味を持ち、いろいろな人との出会いが重なりこの市島町で就農することになりました。

淡路島で慣行農業していたときは違う、少量多品目栽培に、獣害、病害虫との激闘など悪戦苦闘の毎日ですが、市島町には年代の近い若い就農者が多いのでいろいろ相談に乗って頂いたり非常に先輩方には助けられています。

実を言うと、私の実家は、市島町の生産者との提携団体（ひろめる会）

に所属し、消費者として野菜を購入していたので、私は幼少の頃から市島の野菜を食べて育ってきました。昔から、ひろめる会の援農活動や秋の収穫祭で市島町に何度も来ていた私に、農業や田舎暮らしという存在を植え付けるきっかけになったのは間違いありません。

現在は、消費者の立場から生産者の立場に替わり、ひろめる会の生産者として活動しています。

私を育ててくれた団体に所属し、この町で農業をできることに幸せを感じると共に、地域に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。

まだまだ未熟者ですが、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いします。



農業委員会法制定 60周年記念式典開催

平成23年9月7日(水)農業委員会法制定60周年記念式典・兵庫県下農業委員大会が神戸文化ホールで開催され、丹波市農業委員も多数参加されました。

兵庫県下農業委員大会では、丹波市農業委員会が「丹波市ブランド農産物を支える取り組み」と題して活動事例報告を行いました。

また、農業委員として長期にわたって勤続され、功績が認められた農業委員及び優れた活動を行っている農業委員会に対して感謝状及び表彰状が贈られました。



活動事例発表



感謝状贈呈 西田幸男委員

表彰を受けられた方は以下のとおりです(順不同)。

兵庫県知事感謝状

西田幸男 委 員

全国農業会議所会長感謝状

西田幸男 委 員

山本育男 委 員

兵庫県農業会議会長表彰

足立梅則 会 長

古倉一郎 委 員

足立 繁 前委員

活動優良農業委員会表彰

丹波市農業委員会



新しい農業委員

かけがえのない農地を守り 有効に利用しましょう！

農業委員会では、8月～11月までを農地パトロール月間として設定し、農振農用地区域内の農地を中心に、耕作放棄地になっている農地のパトロールを行いました。

遊休農地が発生すると**環境の悪化**につながります



病害虫の発生



産業廃棄物等の不法投棄



鳥獣害の発生



火災の発生



雑木・雑草の繁茂

農地は荒らさず**耕作**しましょう！

農地の権利を有する者は…

「農地を農地として利用する責務」があります！

※農地法では、「農地の所有権・賃借権等を有する者は、その適正かつ効率的な利用を確保しなければならない」旨の「責務規定」が設けられています

- ◆農地は「限りあるかけがえのない地域の貴重な資源」です。
- ◆農地は一度荒れてしまうと、もとの耕作できる状態に戻すまでに大変な手間と労力がかかってしまいます。
- ◆わが国の食料自給力を維持し、今後さらに高めるためにも、農地を有効に利用しなければなりません。
- ◆自ら耕作できない等、農地の利用でお悩みの方は、お早めに地元の農業委員や農業委員会事務局にご相談下さい。



農業委員による農地パトロール

農業委員担当集落一覧表

平成23年7月1日

地域	委員氏名	住 所	電 話	担 当 集 落 名
柏原	上山 貞 たかし	南多田870	72-0487	南多田・南多田沖田・下町・東奥・屋敷・新町・古市場
	倉橋 友邦	大新屋608	72-0604	北山・田路・母坪
	古倉 一郎	小南4	72-0191	小南・室谷・本町・上中町・石田・北中・上小倉・下小倉・見長
	田中 豊	大新屋633	72-1536	石戸・鴨野・東鴨野・下町沖田・拳田・大新屋
氷上	足立 正敏	賀茂733-1	82-2007	井中・北田井・南田井・西田井・田中・氷上
	足立 善孝	上新庄1090	82-1658	下新庄・上新庄・大谷・長野・柿柴・柿柴東
	白井八洲郎 やしろ	絹山629	82-7258	南油良・北油良・棧敷・絹山・香良・伊佐口
	梅澤 忠司	石生2539	82-6354	地頭・石生新町・領町・南町・北野・大崎
	大木 庄藏	新郷953	82-0972	稲畑・新郷・谷村
	勢志 昭英 せし	犬岡280	82-1286	上成松・黒田・犬岡
	塚口 忠男	油利200	82-2498	上油利・下油利・朝阪・小野・福田・佐野
	長久喜重郎 ながくき	清住421	82-1699	清住・中・三方・中野・三原
	廣瀬 喜春 ひろせ	本郷402	82-0493	横田・市辺・本郷・稲継
	細見 昭文	小谷116	82-7388	日比宇・鴨内・小谷・沼・北御油・南御油
	山本 育男	西中489-3	82-1990	西中・常楽・成松
青垣	足立 梅則 おんめ	惣持104	87-5730	桧倉・大稗・小稗・惣持・文室・大名草・稲土
	足立 豊治	遠阪747	88-0011	今出・遠阪・和田・徳畑・平地・向
	足立 信昭	中佐治671-1	88-0188	上地・下地・中佐治・岡見・平野・有口・杉谷
	足立 芳朗	口塩久295	87-1562	東芦田・田井縄・栗住野・西芦田・口塩久
	田村 堯明 のりあき	沢野257-3	87-0767	佐治・小倉・森・市原・岩本・寺内・小和田・沢野・奥塩久・矢の内
春日	赤井 勝 あかゐ	小多利505-3	74-2916	小多利・池尾
	秋山佐登子 あきとこ	棚原1607-1	75-0469	棚原・柚津
	足立 眞一	牛河内152	74-0722	天王・長見・新才・牛河内・山田
	伊藤 重美	中山601-1	75-0503	中山・松森・広瀬・栢野・野瀬
	荻野 榮一	野村1869	74-1235	横町・芝町・小山・下野村・木寺・惣山・奥野村・西野々
	荻野 正幸	朝日669	74-1316	朝日・園部・石才・歌道谷・坂・野山
	荻野 久幸	多田1701	74-2468	多田・七日市
	瀧本 清隆	平松487	74-0556	上ヶ町・本町・新町・仲町・西町・杉ノ下・局の里・平松・稲塚・大野・古河
	田村長治郎	国領1772	75-0307	国領・東中
山南	中川 亘	鹿場573	75-1167	上三井庄・下三井庄・鹿場
	三井 淳男	多利1061-2	74-2296	多利・野上野
	石塚 和三 いしづか	梶513-2	76-0667	梶・前川・小新屋・和田・金倉
	岸本 好量	北和田1024-3	76-0610	北和田・草部・応地
	田中 耕作	谷川1457	77-0264	谷川・山崎
	高杉 武志 たかし	坂尻250	76-0964	若林・富田・小野尻・小畑・西谷・山本・五ヶ野・坂尻
	西田 幸男 さいち	阿草624-2	78-0624	青田・阿草・上滝・下滝・篠場・畑内・北太田・太田
	横内 路子 よこうち	大谷124-3	77-1238	大河・池谷・長野・玉巻・奥野々・岡本・金屋・大谷
	和田 憲治	岩屋62	77-1784	村森・井原・奥・野坂・南中・岩屋
市島	荒木 嘉信	梶原666	85-1571	梶原・上田・市島・上垣・上市・久良部・北岡本
	井上 昌義	上竹田2225	85-1178	今中・宮ノ下・段宿・十市・八日市
	大下 政夫	矢代270	85-1819	徳尾・大杉・谷上・鴨阪・尾端・下鴨阪・矢代
	荻野 一三 おひ	乙河内905-1	85-2141	戸坂・白毫寺・与戸・乙河内
	荻野喜一郎 おひいちろう	勅使607	85-1292	牧北・牧南・戸平・酒梨・勅使・東勅使
	西山 幸雄 にしやま	喜多630-1	85-1722	南・喜多・端・岩戸・北奥
	平田 義春	中竹田927-1	86-0474	友政・安下・大森・新道貝・水西・市ノ貝・高坂・岩倉
	余田 忠男	下竹田271-1	86-0605	石原・森・表・寺内・才田・中村・樽井

丹波市内の農地を売買・貸借・贈与したい方へ

平成23年 7 月 丹波市農業委員会

丹波市内の農地の売買・貸借・贈与などには、丹波市農業委員会(または兵庫県知事)の農地法第3条に基づく許可が必要です。この許可を受けないでした行為は無効となりますが、担い手への農地集積については、農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定の方法もあります。詳しいことは、丹波市HP又は、丹波市農業委員会事務局(春日庁舎)へおたずねください。☆お問合せ先・電話番号0795-74-1504

(1) 農地の権利移動の要件には、次のような項目があります。

- 1、農地のすべてを効率的に利用して耕作すること(すべて効率利用要件)
- 2、取得後の農地面積の合計が基準面積以上であること(下限面積要件)
- 3、個人の場合は農作業に常時従事すること(農作業常時従事要件)
- 4、法人の場合は農業生産法人であること(農業生産法人要件)
- 5、周辺の農地利用に悪影響を与えないこと(地域との調和要件)

(2) 所有権移転の場合は、次の要件を満たす必要があります。

- 個人…上記の1, 2, 3, 5の要件を満たすこと
法人…上記の1, 2, 4, 5の要件を満たすこと

(3) 農地取得の下限面積(別段の面積)について

農地の権利取得にあたっての下限面積については、農地法改正に伴い、地域の実情に応じ、農業委員会の判断で別段の面積を定めることができるようになりました。

丹波市農業委員会では、平成19年4月に見直しを行い、兵庫県知事名で別段の面積を設定して運営してきましたが、改正農地法の施行日(平成21年12月15日)に合わせ、この面積を維持する決定をしました。また、丹波市農業委員会が設定している下限面積について、農地部会において協議しましたが、現行のまま引き継ぐことになりました。

丹波市の下限面積及び設定理由は次のとおりです。

1. 農地法第3条第2項第5号に規定する別段の面積(下限面積)

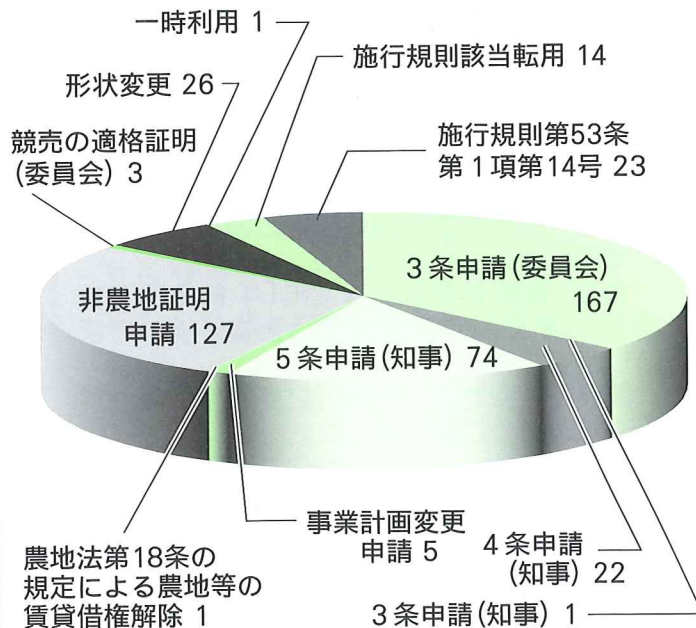
別段の面積	左に掲げる別段の面積を適用する区域
10アール	丹波市のうち、農業振興地域の整備に関する法律(昭和44年法律第58号)第8条第2項第1号により農用地区域に指定された区域以外の区域 平成16年10月31日において氷上郡市島町の区域であった区域
30アール	農業振興地域の整備に関する法律(昭和44年法律第58号)第8条第2項第1号により農用地区域に指定された区域 平成16年10月31日において氷上郡市島町の区域であった区域を除く

2. 設定の理由

- ①丹波市内の経営規模などから設定しています。
- ②農振農用地内・農振農用地外の区分により、基準が異なります。(市島地域を除く)
- ③市島地域の基準が異なるのは、構造改革特区であったことによるものです。

平成22年度 許可申請実績

申請案件	件数	面積㎡
3条申請(委員会)	167	249,080.99
3条申請(知事)	1	1,165.00
4条申請(知事)	22	12,074.00
5条申請(知事)	74	35,102.42
事業計画変更申請	5	5,930.00
農地法第18条の規定による農地等の賃貸借権解除	1	1,202.00
非農地証明申請	127	65,078.84
競売の適格証明(委員会)	3	1,640.00
形状変更	26	24,820.00
一時利用	1	881.00
施行規則該当転用	14	1,933.20
施行規則第53条第1項第14号	23	359.68
計	464	399,267.13



レンジで作る簡単おこわ

材料	もち米	: 1カップ
	さといも	: 150g (ジャガイモでも可)
	ゆずの皮	: 少々
	荒ぼぐしの鮭	: 50g
A	だし汁	: 180cc
	しょうゆ	: 大さじ1弱
	油	: 大さじ1/2
	塩	: 小さじ1/2

- 作り方
- ① もち米は洗って1時間程度水に漬けてからザルに上げる。
 - ② さといも（ジャガイモ）は皮をむいて半分か1/4に切り、塩でぬめりを取る。（2cm角くらいの大きさが適当）
 - ③ フライパンに大さじ1の油を熱して②を炒め、しょうゆ小さじ半分くらいを振っておく。
 - ④ 耐熱容器に①とAを入れ、レンジで600Wなら8分（500Wで9分）加熱して一度取り出し、③を混ぜて再びレンジに入れて8分加熱する。
 - ⑤ 全体に荒ぼぐしの鮭を混ぜいれて、茶碗によそってから「ゆず」の皮を細く薄く切ったものをのせる。

全国農業新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

経営とくらしに役立つ情報をお届けします！

★毎週金曜日発行

★購読料1ヶ月600円

お申込は農業委員会事務局へ
お問い合わせください。

農地相談日のお知らせ

農地に関する相談をお受けします

地域	12月	1月	2月	会場
柏原地域	13(火)	13(金)	14(火)	柏原住民センター
氷上地域	9(金)	12(木)	10(金)	氷上住民センター
青垣地域	9(金)	12(木)	10(金)	青垣住民センター
春日地域	13(火)	13(金)	14(火)	春日庁舎
山南地域	12(月)	11(水)	13(月)	山南庁舎
市島地域	12(月)	11(水)	13(月)	市島農村環境改善センター

相談時間：青垣地域は午後3:00～4:00

その他の地域は午後2:00～3:30

会場：相談会場は当日、案内板等でご確認下さい。

編集後記

本年は東日本大震災や局地的な大雨による被害・打撃を受けました。

幸いにも丹波市は酷い災害もなく、各地域では色々と思案され遊休農地の減少に力を注いでいただいています。

今後、農業委員会としても「TPP交渉参加」には断固反対の意思表示を強く求めてまいります。

農業委員会だよりの発行に伴い多くの原稿をありがとうございました。

たより編集委員会

編集委員
メンバー

委員長：廣瀬喜春 副委員長：倉橋友邦

委員：細見昭文、足立豊治、中川亘、滝本清隆、赤井勝、和田憲治、横内路子、荒木嘉信、平田義春

農政部長：西田幸男 農政副部長：足立真一

国民年金に加入している農業者のみなさまへ

農業者のための
公的な積立年金

国が支える。安心が大きくなる。

担い手 **積立年金** (奨励)

農業者年金

しっかり積み立て！ 安心で豊かな老後を！ 家族みんながニコニコ笑顔！